

# 対馬学フォーラム 2016 ポスター発表予定一覧

## 自然環境

- 01 対馬における水環境の現状と課題ー長崎県その他島嶼との比較研究ー  
○阿部日向子（法政大学文学部）・浅見和希・小寺浩二・池上文香
- 02 照葉樹林域西端に位置する対馬の森林変遷  
○内山隆（千葉経済大学）・江上邦博・三浦洋子
- 03 GISを用いた対馬および周辺地域の地形分析  
○江上邦博（千葉経済大学短期大学部）・内山隆・三浦洋子

## ツシマヤマネコ

- 04 ツシマヤマネコの野生順化訓練に向けた野生順化ケージの環境整備  
○岩下明生（環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所厳原事務所）
- 05 2016年度の田ノ浜田んぼのオーナー制度実施報告と課題  
○關正貴（日本大学生物資源科学部）・糸長浩司・神宮正芳・乙成貞人・米田耕喜
- 06 ツシマヤマネコと共生する地域社会づくりに向けたパンフレット  
○趙賢一（株式会社愛植物設計事務所）・石塚美詠・番場和徳
- 07 環境省対馬野生生物保護センターが実施するツシマヤマネコ保全に関する取り組み  
○沼倉真帆（環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所）・佐藤大樹
- 08 ツシマヤマネコの生息に配慮した森林づくり  
○番場和徳（株式会社愛植物設計事務所）・趙賢一・幡建樹
- 09 アンケート調査からみた対馬市民の意識の特徴  
○本田裕子（大正大学人間学部）・高橋正弘

10 ツシマヤマネコの野外用モニタリング機器の開発～野外での実証実験～  
○前田貴信（佐世保工業高等専門学校）・榎田諭

11 インターネットとロボットを活用した対面式遠隔コミュニケーション  
榎田諭・○前田貴信（佐世保工業高等専門学校）

## 野鳥

12 ツシマヤマネコ米は鳥類保全の役に立っているのか？～秋の調査結果～  
○金子祐希(京都大学大学院地球環境学舎)

## ニホンミツバチ

13 世界レベルでみた対馬島のニホンミツバチの固有性と個体群の移入について  
○若宮健（京都産業大学大学院生命科学研究科）・奥山永・高橋純一

## 有害鳥獣・外来生物対策

14 長崎県対馬市における有害鳥獣被害の発生状況と住民意識  
○北村朗久（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科）・星英之

15 特定外来生物ツマアカスズメバチの対馬における防除の取り組み  
○高辻陽介（環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所厳原事務所）

## 水産・海洋資源

16 環境 DNA メタバーコーディングによる鰐浦魚類相解明の試み  
○會津光博（九州大学大学院工学研究院附属循環型社会システム工学研究センター）・  
清野聡子・佐土哲也・宮正樹

17 対馬における竜巻災害防災にむけた漁業者の自然への認識と漁村の社会システムの活用  
○石原大樹（九州大学大学院工学研究府）・清野聡子・西山浩司

18 対馬の海洋保護区の可能性—持続可能な漁業と生物多様性の保全

○清野聡子（九州大学大学院工学研究院）

19 ちゃらんぽらんな新米漁師の七転び八起記

○銭本慧（合同会社フラットアワー）

## 里地・里山

20 対馬のサステナビリティ学—地域の森林資の持続可能な利用に向けて

○浅野悟史（総合地球環境学研究所）・西前出

21 対馬のサステナビリティ学—森林資源・ミツバチ・食と農の3つのアプローチから

○浅野悟史（総合地球環境学研究所）・大石高典・小林舞・桜庭俊太・細貝瑞季

22 対馬のサステナビリティ学—対馬のミツバチ、対馬の食べ物

○大石高典（東京外国語大学）・小林舞・桜庭俊太・細貝瑞季・浅野悟史

23 長崎県対馬市北西部における地域資源利用形態と土地利用の変遷

○重原奈津子（京都大学大学院地球環境学舎）

24 ヨソモノを活用した耕作放棄地の生態系配慮水田型復田による限界集落再生計画

○山下奉海（九州大学持続可能な社会のための決断科学センター）・○花松泰倫・杉原創

## 食と農

25 対馬の伝統的な食品に関する調査および研究

○内野昌孝（東京農業大学応用生物科学部）・岡大貴・松嶋賢一・田中尚人・高野克己

26 各地域の『せんだんご』からつくる「ろくべえ」の食感の差異について

○岡大貴（東京農業大学食品加工技術センター）・内野昌孝・田中尚人・岡田早苗・高野克己

27 わがとこの酒、飲んでみんね～。—対馬の農業者による「どぶろく」製造事業—

○佐藤雄二（対馬市島おこし協働隊）

28 ブレンド栽培に供するかばしこ米の生育特性

○松嶋賢一（東京農業大学農学部）・櫻井資己・高田拓人・山口裕文

歴史文化・国際交流・アート

29 対馬市浄林寺銅造菩薩半跏像の造形的特質と編年考察—長野県観松院銅造菩薩半跏像との比較を中心に

○任佳英（東京藝術大学大学院美術研究科）・大海奈緒子・辻角香与・櫛原千寿帆

30 新しい博物館の開館に向けた取り組み —100年後の対馬のために—

○大澤信（対馬市島おこし協働隊）・○高田あゆみ（対馬市島おこし協働隊）

31 釜山外国語大学校と対馬市との域学連携事業について—釜山外大生の対馬観光物産協会におけるインターンシップを中心に—

○金庸珏（釜山外国語大学日本語創意融合学部）・○吳恩周（釜山外国語大学日本語創意融合学部）・○黃愈珍（釜山外国語大学日本語創意融合学部）

32 長崎県対馬における石屋根倉庫の分布調査

○小林秀輝（九州大学大学院芸術工学府）・藤田直子

33 国境の島の芸術祭「対馬アートファンタジア」～国際文化交流のリバイバル（復興）～

○米田利己（対馬アートファンタジア実行委員会）・伊東敏光

34 対馬の神社の立地的特徴とその役割

○榎野弘明（九州大学工学部）・清野聡子

地域づくり・域学連携・廃校利活用・コミュニティ支援・ツーリズム・エネルギー

35 島おこし活動に温度差はあるか？—対馬市を対象とした実態調査—

○秋保亮太（九州大学大学院人間環境学府）・孟憲巍・土中哲秀・花松泰倫

36 対馬と壱岐の考え方に違いはあるか？—生業形態による文化比較—

○秋保亮太（九州大学大学院人間環境学府）・土中哲秀・花松泰倫

37 長崎県対馬市における地域・大学連携の実態と課題に関する実践的研究

○伊藤秀之（日本大学大学院生物資源科学研究科）・關正貴・糸長浩司

38 離島の地域振興を目的とした「域学連携」の在り方についての研究(仮)—対馬市「島おこし実践塾」の事例

○今井未来（文教大学大学院国際学研究科）

39 対馬市廃校利活用の研究

○片山皓平（九州大学法学部）・秋野隆士・井上陽南子・江上征爾・大岸亮平・尾前未緒・古閑理・崎山雄平・白川拓也・高崎修造・富村李香・野上晃央・野口智裕・野崎太陽・馬場充隆・広戸真央・平山航大・藤井凱大・松尾七実・師岡薫・鄭ハナ・田井浩人・東隆康

40 旧佐護小学校校舎の利活用に関する研究

○黒瀬弘展（九州大学法学部）・石松悟・浦眞実子・小柳優之介・崔春海・仕明達也・榮健一朗・高橋慧光

41 阿連集落に分け入って

○谷本大樹（九州大学法学部）・二島柚平・松山有理

42 上県町、田ノ浜地区～檜滝地区間における予約制ミニバス運行の取り組み紹介

○菅田奈緒美（田ノ浜・檜滝間予約制ミニバス運行協議会）・原田義則・大塔克彦

43 商店街組織化支援の概要

○濱口義典（対馬市島おこし協働隊）

44 対馬トライアスロンへの挑戦～伝説の第0回を目指して～

須藤竜之介・○東隆康（九州大学大学院法学府）

45 民泊のすすめ～日本中と家族になろう！～

○川口幹子（対馬グリーン・ブルーツーリズム協会）・八木沙也加・蔵本准平・吉野元

46 地域全体で取り組む民泊に関する研究に向けて～志多留地区を事例として～

○八木沙也加（京都大学大学院地球環境学舎）

47 島嶼性から捉え直す地域社会で持続可能なエネルギー開発実践に関する研究

○松村悠子（大阪大学大学院人間科学研究科）・三好恵真子

教育・子ども

48 比田勝 学び舎～学校でも家でもない第三の居場所～

○宇津井万帆（対馬市立比田勝中学校）・○小宮尚栄（対馬市立比田勝中学校）・楠高幸

49 小学校統廃合によって生じる児童・地域の変化—対馬市阿連小を事例として

○落合志保（立教大学大学院社会学研究科）

50 地域における「第3の学びの場」の役割とその意義—対馬市こども未来塾での学生実習を通じて—

○笹川貴吏子（立教大学大学院社会学研究科）

51 2016年こども対馬未来塾報告～夏休みこども寺子屋（瀬・久和・巖原・内院）・学び舎つしま（佐賀・仁位）について～

○杉田洸平（対馬市島おこし協働隊）

52 まちづくり学習を通じたシティズンシップ教育の効果測定—上対馬高校における島の宝プロジェクトの成果と考察

○徳永翔太（九州大学大学院地球社会統合科学府）

53 対馬市における児童福祉関係団体の活動

○ハイトフ スナトゥーラ（九州大学大学院法学府）

54 ～夏休み子ども寺子屋 in 佐須奈～

もやいの会 佐須奈・○常木大樹（対馬市外部集落支援員）